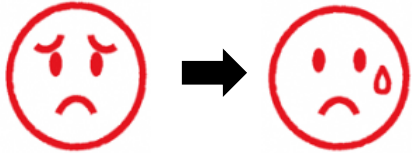


建設業

回答率：100% (25/25)

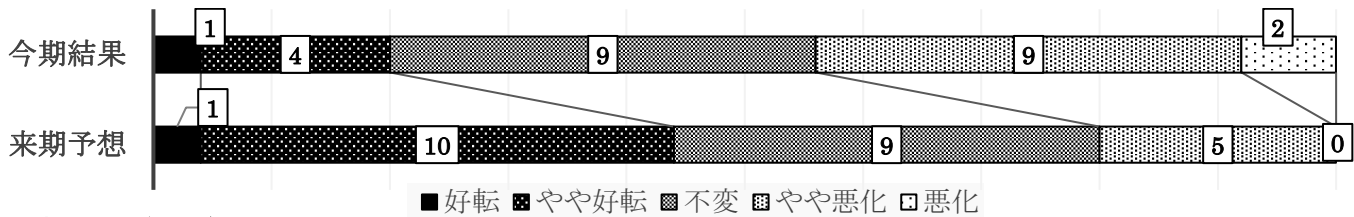
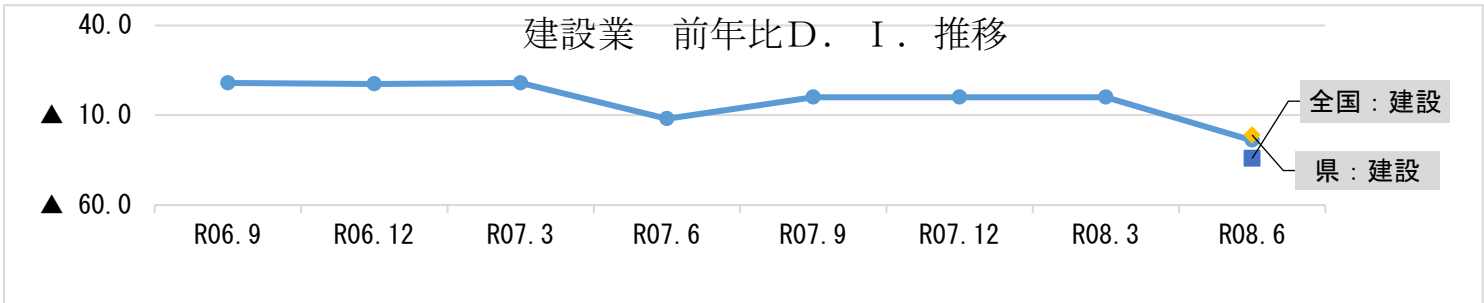


今期 見通し



■丹波市の景況推移

資材不足と価格高騰の長期化により、ここ数年で悪化してきたという流れが見られる。公共工事の発注減少も続き、売上の縮小や資金繰りの悪化が徐々に広がっている一方、修繕・リフォーム需要は底堅く、業者間の差が拡大している状況へと推移している。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

建設資材の不足や材料納期遅延、価格高騰が影響し、工事の停滞や入金遅れによる資金繰り悪化が目立つ状況となっている。公共工事の発注減少も重なり、売上が落ち込む事業者が多い。一方で修繕・リフォーム需要は堅調であり、業者間の仕事量の差が大きく、全体として厳しい景況感が続いている。

【丹波市の来期の景況予想】

来期は、資材不足が徐々に改善する一方で価格高騰は続き、公共工事の低迷や人手不足も解消しにくい見通し。修繕・リフォーム需要は堅調とみられるが、中小事業者の資金繰りリスクは依然高く全体として慎重な業況が続くと予測される。

■全国の景気動向

公共工事や住宅関連工事を中心に需要は安定しているが、原材料の確保難や人手不足に起因する人件費の上昇による収益圧迫も続いており楽観はできない。中東情勢が落ち着き、原油の供給不安が緩和されれば現状は好転する見込みである。

■県下の景気動向

公共工事の発注減少などから売上額が「やや減少」する一方、仕入単価の「やや上昇」によるコスト高が重なり、経営を圧迫している。この減収とコスト増の二重苦により、採算や資金繰り、業界の業況感にいたるまですべての指標が「やや悪化」へと転じており、収益環境の厳しさがうかがえる。ただ、今後は業況DI・売上額DI・収益DI 全てにおいて改善する見通しである。

■地区ごとの回答（前年同期比）

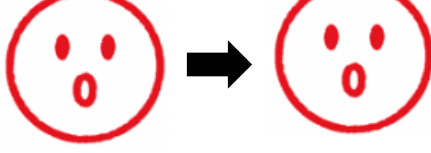
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	2	0	0	1	1	5	20.0%
不変	1	4	0	3	0	1	9	36.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	6	1	1	2	0	11	44.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

製造業

回答率：100% (25/25)

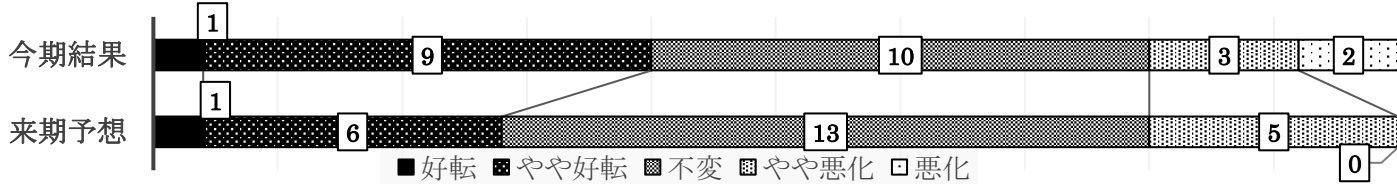
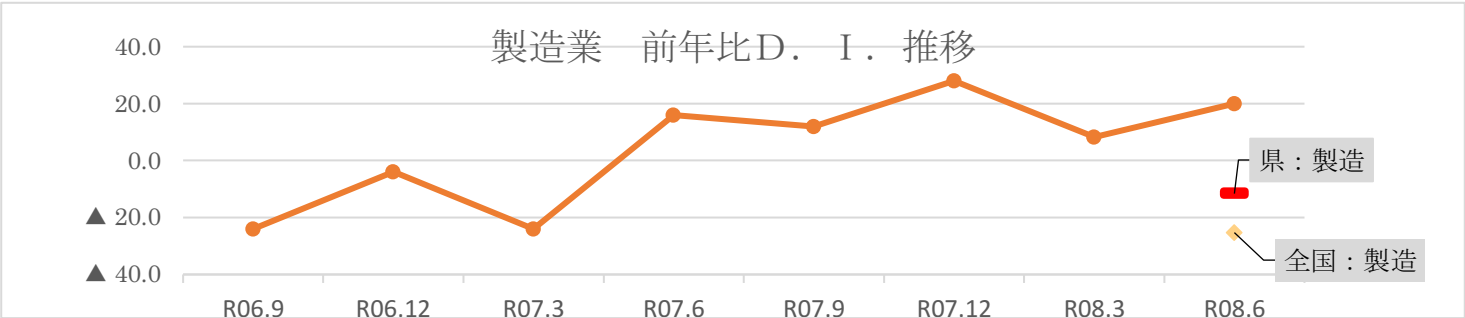
2026 年 4 月～6 月期調査

今期 見通し



■丹波市の景況推移

DI は前期から改善し、4 業種の中で唯一のプラスとなった。同業他社の廃業に伴う受注増や生産の国内回帰、値上げ前の駆け込み需要が押し上げ要因。一方、原材料・副資材の高騰は深刻で、価格転嫁の進捗が業績の差につながっている。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

同業他社の廃業に伴う受注増加や、円安による生産の国内回帰、値上げ前の駆け込み需要などを背景に、受注量を確保できている事業所が多く、DI はプラス圏で推移した。一方、原材料・副資材の価格高騰は深刻化しており、タングステンが 2 年前の 5 倍、プラスチック副資材が 1.4～1.5 倍となるなど、収益面では厳しさが残る。

【丹波市の来期の景況予想】

受注は当面維持される見込みだが、毎月続く資材の値上がりに価格転嫁が追いつかず、DI は今期から低下する見通し。なお一部材料については、未だ供給が不安定な状況がみられ、こうした点も相まって来期は現状維持及びやや悪化という見方が強まっている。

■全国の景気動向

製造業の業況はわずかに改善したものの、コスト高による収益圧迫が続き、価格転嫁の進捗が景況感の差につながっている。食料品関連では包装資材や原材料価格の上昇が収益を圧迫しているとの声が多い。機械・金属関連は堅調な受注が続く一方、繊維関連は受注の低下と仕入価格の上昇で厳しさが続いている。

■県下の景気動向

業況・売上は改善したが収益は悪化し、仕入価格の上昇を吸収しきれていない。経営上の問題点でも「原材料高」が上位で、上昇分を「全く転嫁できていない」との回答が最多。次期は全項目で悪化の見通し。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	1	3	2	2	1	10	40.0%
不変	1	4	1	1	1	2	10	40.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	3	1	0	1	0	5	20.0%
合計	2	8	5	3	4	3	25	100.0%

小売、卸売業

回答率：100%（25/25）



良い

やや良い

普通

少し悪い

やや悪い

悪い

今期

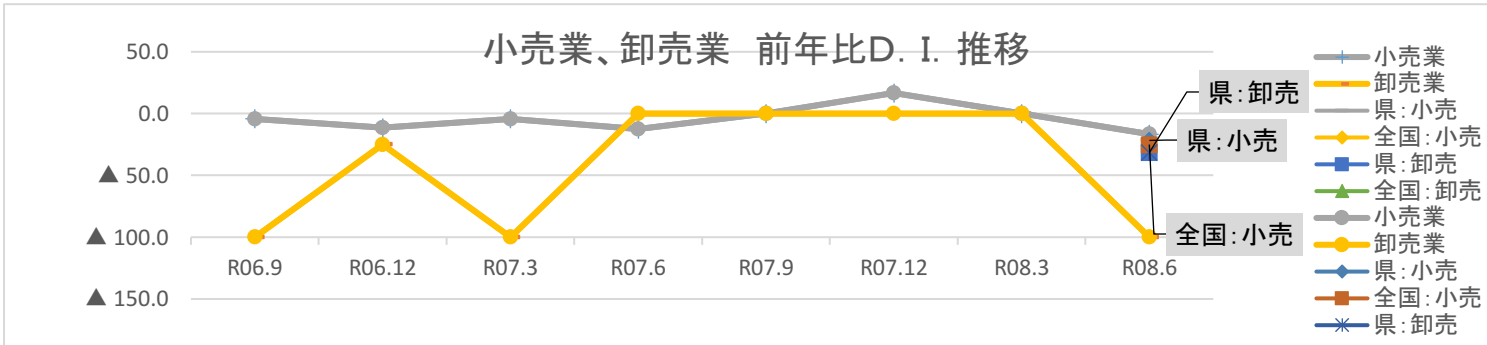


見通し



■丹波市の景況推移

前期は物価高の影響から個人消費が伸び悩み、景況は横ばいで推移した。今期は生活必需品の需要は堅調だったものの、衣料品や嗜好品では買い控えが続いた。仕入価格や物流費の上昇も利益を圧迫し、全体としてはやや悪化している。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

食料品や日用品は堅調に推移した一方、衣料品や贈答品などは動きが鈍く、業種による差が見られた。仕入価格や物流費、人件費の上昇が続く中、価格転嫁が十分に進まない事業者も多く、売上は維持していても利益確保が難しい状況が続いている。

【丹波市の来期の景況予想】

夏季需要や地域イベントによる一定の消費回復が期待されるものの、物価高による節約志向は今後も続くと思込まれる。仕入価格や物流費の高止まりも続くことから、大幅な改善は難しく、景況は横ばいで推移するとの見方が多い。

■全国の景気動向

全国では、食料品など生活必需品の需要は底堅く推移している一方、物価高の影響で消費者の節約志向が続き、衣料品や嗜好品は伸び悩んでいる。仕入価格や物流費の上昇も続いており、価格転嫁の状況によって企業間の業況に差が見られる。

■県下の景気動向

兵庫県内では、都市部や観光地で一定の消費需要が見られるものの、地方部では物価高による買い控えの影響が続いている。仕入価格や物流費、人件費の上昇により利益確保は依然として厳しく、価格転嫁や販売方法の工夫などによる収益改善への取組が進められている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	2	0	1	1	1	5	20.0%
不変	3	6	0	1	1	1	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	1	0	3	1	0	8	32.0%
合計	6	9	0	5	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

回答率：100%（25/25）

2026年4月～6月期調査

今期

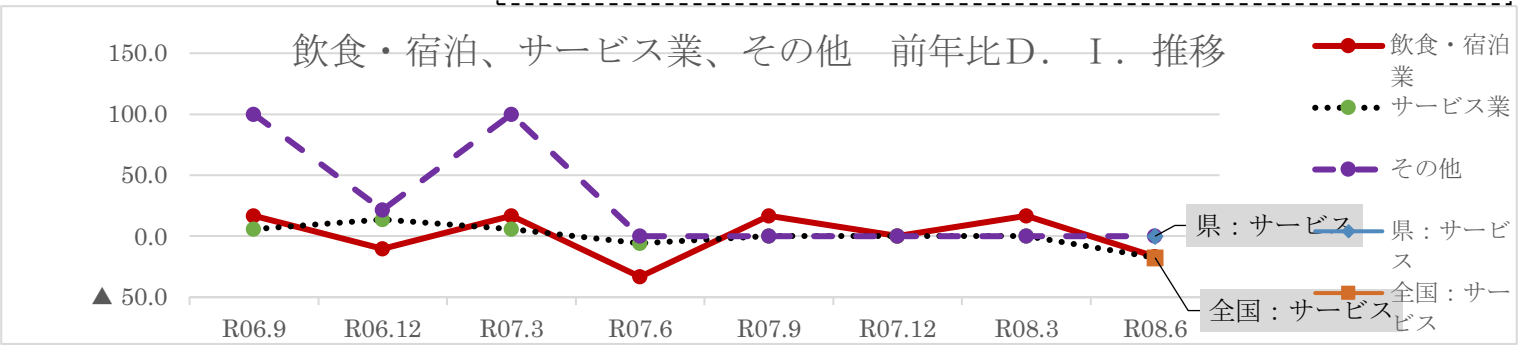


見通し



■丹波市の景況推移

一部では価格転嫁が進み、売上が増加する動きも見られた。一方、原材料費や光熱費、燃料費の高止まりが続いており、値上げによる客離れを心配する事業者も多い。売上が伸びても利益を確保しにくく、全体としては厳しい状況が続いている。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

食材や光熱費、燃料費などの値上がりが続き、事業者の利益を圧迫している。物価高により消費者の節約志向も強く、高価格帯の商品やサービスの利用が減少している。多くの事業所で人手不足が続いており、コスト高と人材確保が大きな課題となっている。

【丹波市の来期の景況予想】

来期は、売上はほぼ不変であるが仕入価格の上昇や8月の季節的な売上減少が見込まれるなど、先行きには不安が残る。需要増加が期待される一方、オイル不足などによる供給面への懸念もある。物価高による買い控えや、人材確保に伴う人件費負担の増加も見込まれ、全体としてはやや悪化すると予想される。

■全国の景気動向

全国では、インバウンドや観光需要、プレミアム商品券などが売上を支えている一方、物価高による節約志向が続く、景況は力強さを欠いている。「旅館・ホテル」では天候不順や消費者心理の悪化により景況感が大きく低下した。理美容でも、光熱費や消耗品費の上昇分を十分に価格へ反映できず、利益確保が難しい状況が続いている。

■県下の景気動向

今期の業況は上昇して、収益面でも改善が見られた。一方、来期の業況は悪化が予想されている。また、人手不足が深刻で、資金繰りも厳しい状況である。足元ではやや改善しているものの、人手不足やコスト高から先行きには慎重な見方が強い。

■地区ごとの回答（前年同期

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	3	1	0	0	0	4	16.0%
不変	1	5	2	3	1	1	13	52.0%
悪い (悪化+やや悪化)	4	1	1	1	1	0	8	32.0%
合計	5	9	4	4	2	1	25	100.0%